

本格的な復興を支えるためには内陸部や高台に移転することが必要と判断。
震災で全壊したSSを移転新設（町内では第1号）。

背景・課題

- 同社のSSは震災で全壊。仮設SSを立ち上げ、復旧車両などに燃料供給を続けてきたが、土地利用計画で旧SSのある場所には事業所などの建設ができないことから、移転新設。
- 震災以降、南三陸町内での新設SSの第1号。

取組内容及び効果

【状況が変わるきっかけ・気づき】

- 震災での避難所生活の最中に、自分も何かできるのではないかと考え、旧SSの地下タンクからの汲み上げを開始。
- 同社SSの競争力強化と本格的な復興を支えるためには内陸部や高台に移転・新設することが必要と判断。

【地域のニーズ・社会的課題解決の秘訣①】<脅威を機会と捉える>

- 震災前であれば、同社単独での投資は難しかったが、震災後に地域の強いニーズがあり、自分がやらなくてはならないという使命感のもと、国と県の補助金を有効活用して新設に踏み切った。

【地域のニーズ・社会的課題解決の秘訣②】<常日頃からの勉強>

- 必ずしも震災が契機になったわけではなく、地域密着の会社として存続していくことを常々考え、優秀なSSを見学し、マーケティングや人材育成の勉強を行い、将来に向けた構想を持っていたことが基盤となっている。

【地域のニーズ・社会的課題解決の秘訣の定量的・波及的効果】

- 同SSの近くに仮設商店街が開設されるなど、街の復興にも大きく貢献。
- 地域の燃料供給の拠点となるSSに大きな期待が寄せられる。



仮設運営時の同社SS



移転・新設の同社SS

今後の展望

- 60年にわたり地域密着の会社として営業。震災後も地元のサポートを得ながら営業してきたことから、新店舗で地元の復興に携わっていく。

会社情報	会社名	(株) 宮城商店
	運営SS数	1SS
	ガソリンの月販ごとのSS数	-
	系列(主なマーク)	東燃ゼネラル石油
	ガソリン卸先数	-
	SS以外の兼業事業概要	LPガス販売

取組を行っている店舗情報	店名	エクスプレス志津川インターSS
	所在地	宮城県本吉郡南三陸町志津川御前下15-3
	立地特性	郊外/街道立地
	営業時間	7:00~21:00
	従業員数	5名(社員:5名)
	運営形態	セルフ
	敷地面積	605坪
	燃料油販売数量	-